

六月三十日第三十六回連絡懇談會

國策要綱閣議提出案、對獨通告文、政府聲明案、

御前會議ニ於ケル外相御説明案等ニ關スル件

自午後五時至同九時

今回ハ特ニ企畫院總裁、大藏大臣、商工大臣ヲ加ヘタリ

ニ要旨

首題ノ件ニ關シ懇談スル豫定ナリシ所、過般連絡會議ニ於テ決定  
シ上奏御裁可ヲ得タル南方施策促進ニ關スル件ニ據ル南部佛印進  
駐ニ關シ、外相ヨリ繰延（約六月）ノ意見出テ、之カ論議ニ時間  
ヲ費シ、結局佛印進駐ハ豫定通り實施スルコトニ決シ、又閣議提  
出案及政府聲明案ハ決定ヲ見タルモ、對獨通告文及外相御説明案

0284

ハ明日午後更ニ研究スルモトシ、御前會議ハ二日午前ニ奏請ス  
ル如ク變更シ散會セリ

茲ニ於テ最モ急速ヲ要スル國策ノ決定ハ、既ニ上奏御裁可ヲ得タ  
ル佛印進駐ニ關スル外相ノ蒸シ返シニ依リ意味ナク一日遅延セラ  
ルルニ至レリ

塚田參謀次長ハ本夜徹宵審議決定スヘキ旨發言セルモ、外相ハ疲  
勞シアリトテ明日再開ヲ主張セリ

兵 南部佛印進駐中止ニ關スル論議ノ要旨

外相南ニ火ヲツケズ北ヲヤレト強調シ、左ノ如キ要旨ヲ述フ

「今日迄獨ハ獨「ソ」戦争ニハ協力シテ呉レノ程度ナリシモ、本  
日「オットー」ハ本國ヨリノ訓令ヲ見セ參戰ヲ申込ミタリ。尤モ

此ノ參戰ハ訓令ニ附加シ「オットー」ノ意見希照トシテ述ヘタル  
モノナリ

何レニシテモ帝國ハ參戰ノ決意ヲセサルヘカラス、

南ニ火ヲツケルノヲ止メテハ如何。

北ニ出ル爲ニハ南佛進駐ヲ中止シテハ如何

約六月延期シテハ如何

然レシカラ統帥部總理ニ於テ飽迄實行スル決心ナラハ、既ニ一度  
讀成セル自分故不同意ハナシ

右ニ對シ、海相ハ杉山總長ニ約六月位延期シテハドウカト述ヘ、  
又近藤次長ハ延期スル様ニ考ヘ檢ト塚田次長ニ私語セルモ、塚田  
次長ハ參謀總長ニ斷乎進駐ヲ敢行スヘキヲ具申シ、杉山總長、永

野總長ト協議ノ上、統帥部ヲ代表シ斷乎進駐スヘキ旨ヲ表明セリ  
近衛總理ハ統帥部ガヤラレルヲラバヤルト述べ、外相ハ然ラバヤ  
ルガ、其他ノ大臣ハ異存ナキヤト問ヒ、各大臣モ異存ナシト發言  
シ、結局原案通り實行スルコトナレリ

四前項ニ關聯シ尙左ノ如キ發言アリ

外 相 我輩ハ數年先ノ豫言ヲシテ適中セヌコトハナイ。南ニ手  
ヲツケレハ大事ニナルト我輩ハ豫言スル。ソレヲ總長ハ  
ナイト保障出來ルカ

尙南佛ニ進駐セハ、石油、「ゴム」、錫、米等皆入手困  
難トナル

英艦ハ頭ヲ轉向スル。我輩ハ先般南進論ヲ述ヘタルモ今

度ハ北方ニ轉向スル次第ナリ

武藤局長 南佛ニ進駐シテゴム、錫等カ取レルノデアル

内 相 北ヲヤラネハナラヌト思フ。而シ出來ルカ出來ナイカガ

問題デ、之ハ軍部ノ御考ニヨル外ナシ

軍令部總長 北ニ手ヲ出スニハ、海軍トシテハ一切ヲ南ニ準備シテ

居ルノヲ北ニ變更スル必要ヲ生シ、之カ爲約五十日カカル

五 帝國政府聲明案ニ就キテハ、情報局提出ノ一案ニ對シ近衛總理不

同意ナリ

總 理 此ノ様ナ抽象的ノ事ヲ出シテモ國民ハ承知スマイ、重シ

ノアルナシトカウマイ方法ハナイカ

參謀總長 三國樞軸ヲ基調トスルコト、支那事變處理ヲヤルコトヲ

0288

附加シテハドウカ

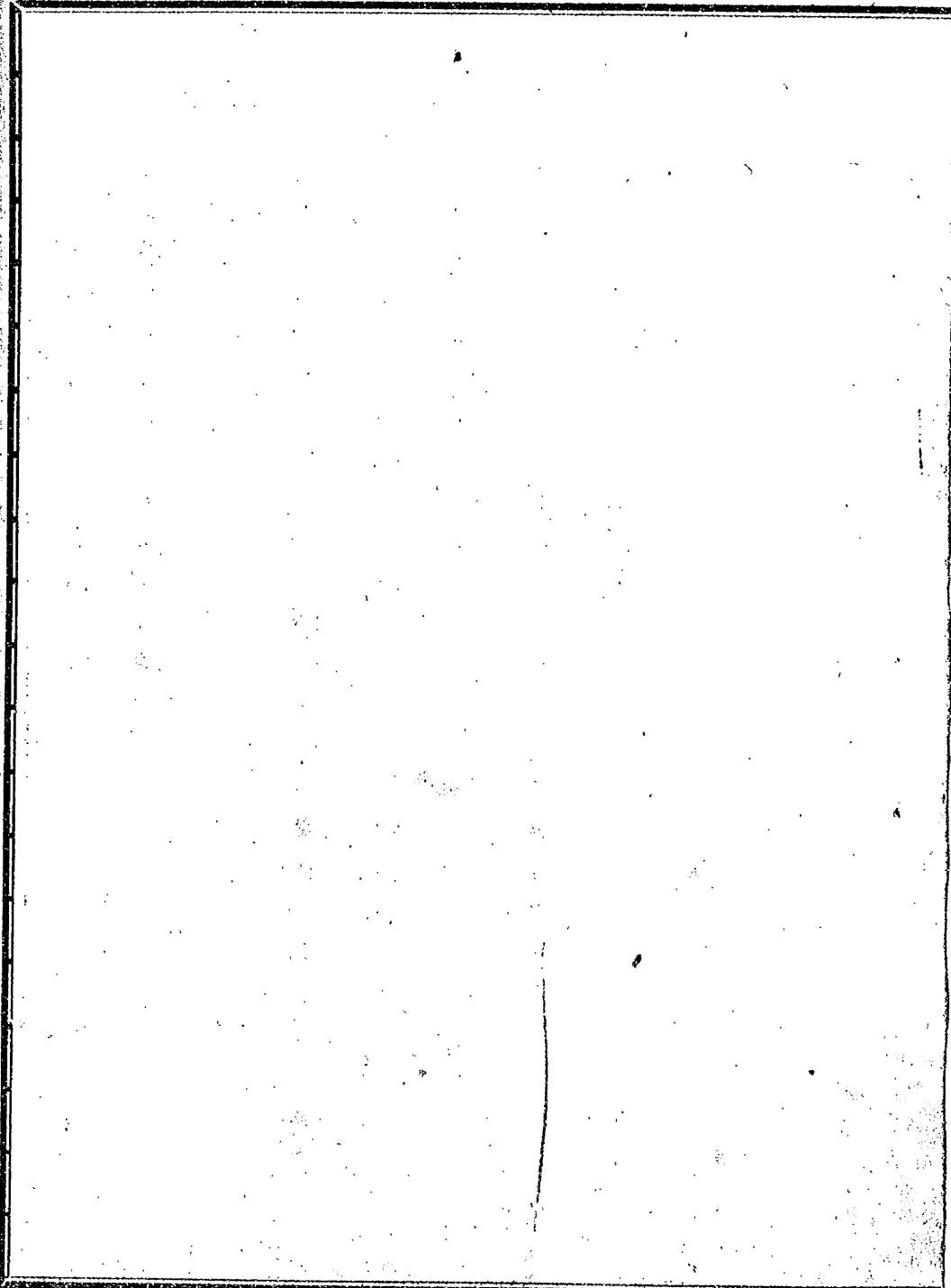
總理 統帥部カラ國策決定セリト發言シテハ如何  
書記官長ヨリ種々提案アリ。結局近衛總理ノ發案ニ依リ「本日御  
前會議開催セラレ當面セル帝國ノ重要國策ノ決定ヲ見ダリ」ト際  
明スルニ決ス

六對獨通告文並外相説明案ニ關シテハ外相疲勞シテ居ルカラ歸ツテ  
更ニ研究シ度シト述ヘ、塚田次長徹宵審議ヲ提議シタルモ遂ニ審  
議スルニ至ラス

セ以上ノ懇談ノウチ外相ハ外交ノ原則論ヲ述ヘ、參謀總長及同次長  
ハ今ヤ原則論ノ時機ニアラス、高等政略ト高等戰略トノ調和ニ依  
ル國策ノ決定ヲナスニ在リト熱心ニ論議セリ。而シテ海軍側ノ大

臣、總長、次長ハ殆ト發言スルコトナク、從ツテ參謀本部ト外相トノ討論ニ終始セルカ如キ次第ナリ

依是觀之佛印進駐ニ關シテハ、之ニ對スル外相ノ逡巡、海相、近藤次長ノ延期說等ヲ繞リ、進駐實施ニ方リテハ相當ノ波瀾ヲ生スヘク又本日ノ會議ノ空氣竝海軍側對獨通告文ノ趣旨（南北何レモモ出ル案）等ニ鑑ミ北方ノ好機ヲ捉ヘ愈々實行スル場合ニ於テモ大ナル紛糾ヲ生スヘキヲ豫想セラレ憂慮ニ堪ヘス



日本標準規格 B-4

0291

**国立公文書館 アジア歴史資料センター**

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>